

第71回

# 工芸展 日本伝統

大阪展

現在する伝統を  
約300点のスケールで一堂に

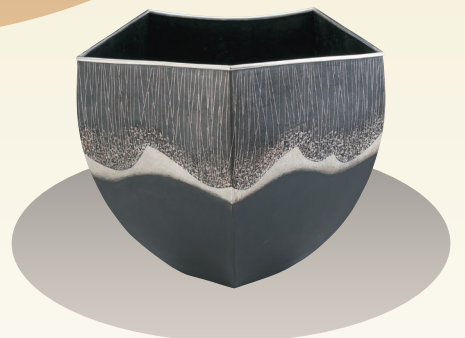


日本工芸会奨励賞  
せんびょうき かもん はないれ  
線描幾何文花入 森田 由利子  
形が重なることで生まれる新たな魅力ある形の構成。その中に誘われ散策してしまう空気感の表現を試みました。

高松宮記念賞  
もくしんとう そわしほり  
木芯桐塑和紙貼  
「あかばな」  
満丸 正人  
沖縄の自然の鮮やかさや伝統の美しさを、色合いと、和紙貼り仕上げに、こだわって制作しました。



日本工芸会新人賞  
けやきふきうろしふたもの「ゆうぼくじら」  
樗拭漆蓋物「夕映鯨」松原 輝  
美しい水生動物から今回は鯨に焦点を当て優雅な様を削り出し、拭漆によって夕日に照らされた様子を表現しました。



日本工芸会新人賞  
ぬのめぞうがん ごかくほち「とう」  
布目象眼五角鉢「濤」藤川 耕生  
夜の荒れた海を雨が打つ。波を切り、暴吹(しぶぎ)上げてゆっくりと船が進む。日本海で見た景色を表現しました。

THE 71st JAPAN TRADITIONAL *Kōgei* EXHIBITION  
2024 10.16<sup>TUE</sup> - 10.21<sup>SUN</sup>  
大阪高島屋 7階 グラウンドホール

ご入場時間=午前10時~午後6時30分(午後7時閉場) 入場料<税込>= 一般500円(300円) / 大学生以下無料

※最終日10月21日(月)は午後4時30分まで(午後5時閉場) ※( )内は前売りの割引料金。前売券は、セブンチケット、ローソンチケットにて10月15日(火)までお求めいただけます。  
※当催については、「障がい者手帳・デジタル障がい者手帳」をご提示いただいたご本人様、ならびに、ご同伴者1名様まで入場無料とさせていただきます。 ※安全のため、小学生以下のおこさまは必ず保護者の方ご同伴でご入場ください。  
※都合により、催し内容・会期などが変更または中止になる場合がございます。最新の情報は日本工芸会近畿支部のホームページをご覧ください。  
主催=大阪府教育委員会、NHK大阪放送局、朝日新聞社、日本工芸会 後援=大阪市 協賛=パナソニック ホールディングス株式会社

- 列品解説
- 10月16日(水) 午後2時 <陶 芸> 樋口 邦春
  - 10月17日(木) 午後2時 <漆 芸> 岸本 圭司
  - 10月18日(金) 午後2時 <金 工> 上田 稔
  - 10月19日(土) 午後2時 <染 織> 村上 良子 重要無形文化財保持者
  - 10月20日(日) 午後2時 <木竹工> 宮本 貞治 重要無形文化財保持者
  - 午後3時 <人 形> 青江 桂子
  - 10月21日(月) 午後2時 <諸工芸> 藤野 聖子 / 渡邊 明

自作を語る

- 10月19日(土) 午前11時 <金 工> 藤川 耕生 <木竹工> 松原 輝
- 10月20日(日) 午前11時 <人 形> 満丸 正人 <陶 芸> 森田 由利子

特別展示

わざを伝える  
「友禪」二塚 長生  
重要無形文化財保持者

我が国には、世界に卓絶する工芸の伝統があります。伝統は、生きて流れているもので、永遠にかわらない本質をもちながら、一瞬もとどまることのないのが本来の姿であります。伝統工芸は、単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。伝統こそ工芸の基礎になるもので、これをしっかりと把握し、父祖から受けついで優れた技術を一層錬磨するとともに、今日の生活に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると信じます。昭和25年、文化財保護法が施行され、歴史上、若しくは芸術上特に価値の高い工芸技術を、国として保護育成することになりました。私どもは、その趣旨にそって、昭和29年以来陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門にわたり、各作家の作品を厳重鑑査し、入選作品によって日本伝統工芸展を開催してきました。

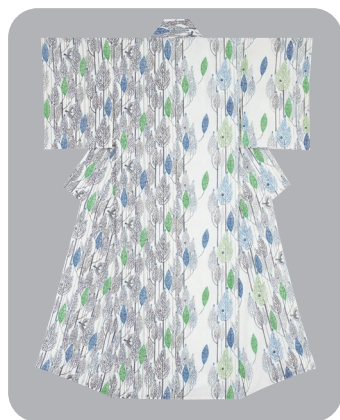
このたび、第71回展を開催し、広く人々の御清鑑を仰ぎ、我が国工芸技術の健全な発展に寄与しようとするものであります。重要無形文化財保持者、受賞作家、近畿在住作家の作品を中心に、入選作品約300点を一堂に展覧いたします。



日本工芸会総裁賞  
てつじぞうがんかき  
鐵地象嵌花器  
原 智



文部科学大臣賞  
じんだいすきづくりばこ  
神代杉造箱  
角間 泰憲



東京都知事賞  
かたえぞめきもの「あすなろのもり」  
型絵染着物「あすなろの森」  
遠藤 あけみ



NHK 会長賞  
ごきんさいばち「およくつき」  
五金彩鉢「遊ぶ月」  
高橋 朋子



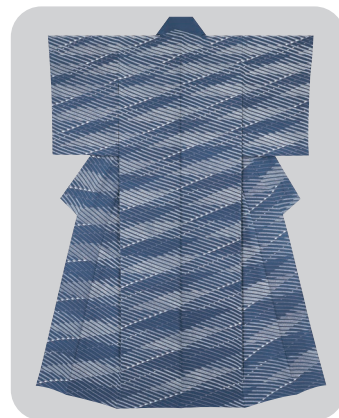
朝日新聞社賞  
らでんついきんばこ「きすいいき」  
螺鈿堆錦箱「汽水域」  
松崎 森平



日本工芸会会長賞  
しっぽうばち「りつ」  
七宝鉢「律」  
安藤 令子



日本工芸会保持者賞  
ぎんでいさいじほおずきもんはち  
銀泥彩磁鬼灯文鉢  
井戸川 豊



日本工芸会奨励賞  
ゆうせんきもの「きすいいき」  
友禅着物「汽水域」  
尾崎 久乃



日本工芸会奨励賞  
まきえぼこ「せいにか」  
蒔絵箱「盛夏」  
田中 義光



日本工芸会奨励賞  
はなかご「きざし」  
花籃「兆」  
大木 淑恵



日本工芸会奨励賞  
きりかねかざりばこ「そらのしらべ」  
截金飾筒「宙の調べ」  
江里 朋子



日本工芸会新人賞  
じょうはなまきえかざりばこ「えくりぶす」  
城端蒔絵飾箱「Eclipse」  
小原 治五右衛門

同時  
開催

「工芸の美—未来へ—」

7階グランドホール前 特設会場

第71回展出品作家による暮らしに寄り添う作品を展覧いたします。

お問い合わせ先

公益社団法人 日本工芸会近畿支部

〒604-8183 京都市中京区高倉通三条上 京都府京都文化博物館内

TEL. 075-252-5205

<https://nihonkogeikaikinki.jp/>

